

令和3年度 教育・学生支援機構長と学生代表者会議委員との意見交換会（プレゼンテーション含む）を実施しました。【令和4年3月25日（金）】

学生代表者会議は、平成19年6月に発足し、今年度で15年目を迎えました。本学の基本理念である「学生中心の大学づくり」の一端を担い、学生が入学から卒業・修了まで安心して充実した大学生活を送ることができるよう、学習環境の改善及びキャンパスライフの向上に関する事項を学生自らが協議し、大学側に提言することを目的としています。

同会議の委員は、各学部・体育系全学サークル・文化系全学サークル・スチューデントキャンパスボランティア（SCV）、障害学生支援ボランティア（CBP）、外国人留学生の各代表12人で構成されています。3年度委員は、学生から寄せられた意見・要望について、全体会議及び委員各自の調査研究を経て、八尋教育・学生支援機構長と意見交換会を持ち、そのなかでプレゼンテーションを実施しました。

まず、3件のプレゼンテーションを行い、質疑応答を行いました。

その後、八尋機構長との意見交換に臨みました。

なお、プレゼンテーションの内容は、次のとおりです。

要望1. 「エアコン（図書館、沿岸環境科学研究センター）の整備」

内容: 室外機の故障によるエアコンの効きがよくない部屋があるため、改修を要望しました。

要望2. 「連絡に関して」

内容: 大学から学生への連絡の発信方法及び外国語での連絡の改善を要望しました。

要望3. 「学生意見の募集と回答」

内容: 一般の学生からの意見の募集及び回答の変更を提案しました。

要望Ⅰの改善

<図書館>

八尋教育・学生支援機構長から佐藤図書館長に、学生代表者会議の要望内容の説明があり、さらに八尋機構長が佐藤図書館長から中央図書館の状況の聞き取り及び現地視察を行いました。その後、八尋教育・学生支援機構長から佐藤図書館長に、空調設備の改善を要望しました。なお、2階閲覧室については、故障のあった室外機は修理し、現在、正常に稼働しております。

愛媛大学図書館長

佐藤 智秋 様

愛媛大学教育・学生支援機構長

八尋 秀典

城北地区中央図書館の空調設備に関する要望について

標記のことについて、令和3年度学生代表者会議から、同館の空調設備について、空調が効いておらず、自学自習に支障を及ぼす等の意見が学生から寄せられており、大学として対処いただきたいとの要望がありました。

このことについては、学生代表者会議委員との面談も行い、切実な要望であると判断いたしました。

つきましては、学生の自学自習にとどまらず、大学生活が快適に過ごせる環境をご提供いただきたく、空調設備について、早急にご対処をお願い申し上げます。

<沿岸環境科学研究センター>

八尋教育・学生支援機構長から満田理事（学術担当、先端研究・学術推進機構長）に学生代表者会議の要望内容の説明があり、満田理事が同センターの渡辺部門長、大林先生から同センターの状況の聞き取り及び現地視察を行いました。

その後の施設基盤部との話し合いの結果、業務用空調機4台が、同センターに設置されることになりました。

要望2の改善

愛大HPについては、機械翻訳機能によるウェブサイトの多言語化を図っていきます。

これにより、日本語ページと同じウェブサイトの構造で外国語による発信を行い、言語による情報量の格差を解消していきます。

●「連絡内容の整理をできるようにしてほしい」について

ここでは、『修学支援システムのメッセージ機能』における、メッセージの整理について回答させていただきます。これは、従来から改修について検討を進めていたところであり、2022年3月に、以下の機能の追加を実施しました。

- ・メッセージに「重要」のフラグマーク()を付ける機能
- ・「発信元」「差出人」「件名」でメッセージを検索できる機能

また、従来から利用できる機能として、「フォルダの作成機能」がございます。上記のような機能を、メッセージの整理にご活用していただければと思います。

機能の利用方法については、修学支援システムのログイン後トップページ掲載の「修学支援システム利用のてびき」に詳しく記載しております。

<https://info.ehime-u.ac.jp/syugaku/stu/pub/tebiki.pdf#page=28>

なお、修学支援システムログイン画面の「お知らせ」の表題画面に、発信元の情報を含めてはどうか、という提案についてですが、ご要望のとおり今後、対応したいと思います。

●「連絡手段の統一・各手段の役割分担」について

授業によって、対面での授業・Moodle を利用した授業・Teams を利用した授業と、様々な形態があり、主として利用するツールが異なることから、連絡手段について統一することは、難しい状況です。各教員から、授業の最初に、連絡方法についてのアナウンスがあるかと思しますので、それに従っていただくよう、お願いいたします。

なお、修学支援システムや Moodle から発信されたメッセージは、いずれも全学メールアドレスに届く(転送される)ようになっており、基本的には、全学メール上に、大学に関わ

る連絡事項が集約される形になっております。全学メールを毎日必ず確認していただくよう、お願いいたします。

●修学支援システムでの学生への連絡における方法に関する意見について

「お知らせの発出元が分かるようにしてほしい」という要望がありました。これを受け、次のとおり方針を定めることといたしました。

○修学支援システムで学生にお知らせの際は、件名の冒頭に【】で囲って発出部局名を入れるようにする。例【学生生活支援課】文京地区避難訓練について（通知）

要望3の改善

一般の学生からの意見の募集及び回答の変更することで、学長へのご意見箱と変わりがないということになっていけないと思います。このような変更の提案があるということは、学生代表者会議自体が形骸化しているということかもしれないので、来年度からは、教育・学生支援機構長と学生代表者会議委員との間で何回か意見の交換をしつつ、学長と年1回は意見交換会を開催というように変えていく方法も検討していこうと思います。